

## T O K Y O O - X アニマルウエルフェアの勉強会開催

T O K Y O O - X 生産組合は、十一月二十七日、午後三時三十分より、神奈川県相模原市の㈱日本カイハツミート本社において、「アニマルウエルフェアの勉強会」を開催した。それには、T O K Y O O - X の生産者、流通業者等の関係者が多数出席した。

アニマルウエルフェアの勉強会では、農林水産省生産局畜産部畜産振興課菅谷公平課長補佐より「アニマルウエルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針」について講演が行われた後、意見交換が行われた。

菅谷課長補佐の講演は、アニマルウエルフェアによる一般原則、豚の飼養管理について行われた。講演終了後、出席者より多数の質問等が出された。

## 豚のアニマルウエルフェア対応に向けた質問・意見

T O K Y O O - X のアニマルウエルフェア勉強会が別項のように開催され、出席者から多数の質問・意見が出された。

出された質問・意見の中では、①T O K Y O O - X を飼養しているが、講演を聞いてアニマルウエルフェアにほぼ準じた飼養であることから、それにスムーズに対応できると感じた。②ヨーロッパの消費者は高い関心を持っていると聞いているが、日本の消費者はそれを知らない。③生産者だけに求めるのではなく、流通業界や消費者に対しても、そうした豚肉の生産が行われていることをアピールすべきである。その機会をもつてほしい。④中国や東南アジアではどうなっているのか、輸入豚肉との差別化が必要ではないか。⑤養豚生産者の経営採算は大変悪い、生産者が安心して取り組めるシステムが必要である。場合によってはそれを契機として廃業する可能性がある。⑥安全・安心な国産の豚肉を生産するわけであることから、それについての養豚農場のランキング作りが必要ではないか。⑦混合ワクチンの接種を認めてもよいのではないか。これらがあった。